

## 福祉サービス第三者評価結果の公表事項

評価機関（評価機関認証No.）	社会福祉法人 福井県社会福祉協議会（福井福祉評価認証第1号）
評価調査者研修番号	第10-24号、第6-15号、第10-3号

### 【基本情報】

#### ①施設・事業所情報

名称：社会福祉法人 足羽福祉会 足羽学園	種別：福祉型障害児入所施設及び併設型短期入所施設（知的）
代表者氏名：園長 嶋田 富士男	定員（利用人数）： 20名
所在地：福井市宿布町19-46-1	
TEL：0776（41）3120	ホームページ：http://asuwafukushikai.jp/gakuen/
〔施設・事業所の概要〕	
開設年月日：昭和42年7月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 足羽福祉会	
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員 7名
専門職員	保育士： 7名 看護職員： 1名
施設・設備の概要	（居室数） 24室（内、短期入所4室）。完全個室化を図った4人ユニットが2ユニット、8人ユニット2ユニットとなっている。 （設備等） 消防設備・キッチン・浴室・脱衣室・トイレ・相談室・職業訓練室等

#### ②理念・基本方針

<p>&lt;理念&gt; 私たちは「共に生き、共に集う、光を求めて」の理念を継承し、地域に開かれた、地域に信頼される福祉を目指します。</p> <p>&lt;従事者倫理&gt; 職員は、常に明るく、温かく、親切を尽くします。</p> <p>&lt;サービス提供指針&gt; その人らしさを尊び、命を守り、意思を受け止め、社会参加を応援しよう。 チームワークを大切に、プロとしての自覚と研鑽を高めよう。 すべては利用者様のため、そして私たち自身のため。</p>
--

#### ③施設・事業所の特徴的な取組

<p>平成30年度4月よりユニット化を図り、各ユニットが完全分離型の施設で、ユニット内に強度行動障害児対応のエリアを設けている。年齢や性別を鑑みて居室を決めている。少人数で「暮らす」事で家族的な雰囲気の中、子ども達はその年代で経験することを当たり前経験できるよう、お手伝い（茶碗洗い・茶碗拭き・テーブル拭き等）、夕食づくり、お買い物・公共施設への外出・外食等を取り入れている。</p>
--

#### ④第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年8月2日（契約日）～ 令和2年3月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（平成 28年度）

#### ⑤総評

<p>【特に評価の高い点】</p> <p>（理念・基本方針） 法人理念・基本方針がパンフレット、ホームページに記載され、生活支援要綱や事業計画書、職員接遇・行動規範が策定されている。毎年開かれる保護者会においても説明がなされている。</p> <p>（経営状況の把握） 社会福祉事業の動向と分析、福祉サービスニーズの把握などを総合的に実施している。 経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制を把握し、設備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析を実施している。経営課題や問題点を組織で共有化し、改善に向けた取り組みを行っている。</p> <p>（利用者本位の福祉サービス） 利用者を尊重した福祉サービスの提供に関して、「知的障がいのある方を支援する為の行動規範」から大きな字で書き直した項目別の掲示表を作成し、朝礼時に、理念・基本方針と共に職員で唱和している。</p> <p>（生活支援） 絵カードや絵スケジュール表等の視覚情報を用いたものを作り、それを用いることで利用者とのコミュニケーションが円滑になるように工夫をしている。また、補聴器を用いた音楽療法にも取り組んでおり、利用者の状況に応じた支援を行っている。さらに、スポーツ教室や食事・おやつ作り、外食、地域の施設・イベントへの参加等年間を通して様々な行事が利用者の意向を取り入れながら行っており、利用者の生活が充実するような取り組みが行われている。</p>
--

【改善を求められる点】

(福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組)

第三者評価受審や事業計画等は組織的にを行っているが、実施状況の評価と合意形成を行い、改善計画等の見直しを図ることを期待したい。

(福祉サービスの質の確保)

部門を横断した様々な職種の関係職員が参加してのアセスメント協議を実施しておらず、利用者の意向把握と同意を含んだ手順を定めるよう期待したい。定期的な個別支援計画の評価見直しは、習慣としての取組みとなっており、手順や仕組みは定められていない。個別支援計画の見直しは、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、利用者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施するよう望みたい。

⑥第三者評価結果に対する事業所のコメント

前回の受審後も、評価結果を元に取り組みを継続し、利用者様の満足度アップに向けてサービス提供を行ってまいりました。平成30年4月より、小規模ユニットケア体制となり、利用者様個々のニーズに対応できるよう取り組んでいる事で認めて頂いた項目もある反面、重度の知的障がいがある方への支援であるからこそ、取り組みの成果を認めて頂けない項目もあり、難しさを感じる結果となりました。今後も、『利用者様本位』の視点で改善に向けた取り組みを継続し、利用者様の笑顔があふれるよう、より良いサービスを目指して取り組んでまいります。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

# 障害者・児福祉サービス版

## 【共通評価基準】

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 法人理念・基本方針がパンフレット、ホームページに記載され、生活支援要綱や事業計画書、職員接遇・行動規範が策定されている。毎年開かれる保護者会においても説明がなされている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

#### I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 社会福祉事業の動向と分析、福祉サービスニーズの把握などを総合的に実施している。経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制を把握し、設備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析を実施している。経営課題や問題点を組織で共有化し、改善に向けた取り組みを行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

#### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 中期計画を3年、長期計画を5年とした計画を策定している。理念や基本方針の実現に向けて、具体的目標を明確化し、毎月の施設現況報告にて評価を行うことで問題点を明らかにしている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
7	② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しについて、職員は職員会議等に参画し、半期毎に進捗状況を把握している。	
	改善できる点/改善方法： 事業計画は、利用者の家族に配布、掲示、説明しているが、利用者への説明ができていない状態であり、説明しやすい資料作成・工夫を期待する。	

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
9	② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点/改善方法： 第三者評価受審や事業計画等は組織的にやっているが、実施状況の評価と合意形成を行い、改善計画等の見直しを図ることを期待したい。	

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 管理者は支援要綱や職務権限規定に沿い具体的な取組みを文書化し、知り得た知識や情報について職員会議や朝礼等で職員に伝達している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 福祉サービスの質の向上と改善に取り組んでおり、経営分析も毎月行い、組織的に具体的な体制の構築に取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

### II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 各種就職セミナーに参加し、ホームページを利用した人材の確保・育成に取り組んでいる。 人事考課を導入し、人事基準を明確に定めて職員の処遇改善に取り組み、働きやすい職場づくりに努めている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 職員の勤務状態、有給休暇全般に目を通し、心身の安全衛生に取り組んでいる。 職場全体の環境やメンタルチェックにも配慮し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： ホームページにて組織が期待する職員像を明確化し、新人職員を含めた個別職員ごとの目標面接と評価面接を実施している。 各種サービスにおける「能力開発支援規定」を策定しており、個人の資質向上のため、育成・教育研修を行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 実習生等専門職種ごとの研修（育成・教育）を行っており、その都度、副園長が担当者に対し助言・指導を行う体制を確保している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

## II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 運営の透明性を図るために、様々な媒体（ホームページ（事業計画書・報告書、予算・決算）、第三者評価等）を公表している。また、法人広報誌、学園機関紙を通じて地域にも情報公開している。</p> <p>改善できる点/改善方法： 特になし。</p>	

## II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 地域の社会資源情報は「散髪」、「スポーツ教室」等必要に応じて説明をしている。 ボランティア受入れは「ボランティア受入れマニュアル」に明文化され、地域イベント等職員とともに支援できる体制がある。</p> <p>改善できる点/改善方法： 活用できる社会資源は、必要に応じて利用者への説明にとどまっているため、地域への啓蒙とともに、社会資源のわかりやすい掲示が望まれる。</p>	

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 関係機関・団体を生活支援要綱に明文化して共有化を図っている。定期的な連絡会、ケース会議等で協働して具体的な取組を行っている。 評議員に関係機関・団体の者が入り、法人全体との連携も行っている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 特になし。</p>	

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 市と地域の福祉避難所としての締結をしている。地域交流スペースを新たに建替え中で、年度末のサービス実践報告会や広報誌配布などの取り組みを行っている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 児童相談所、民生委員・児童委員との交流を積極的に行い、福祉ニーズの把握と連携を定期的に行うことを期待したい。</p>	

## III 適切な福祉サービスの実施

### III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
29	② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 利用者を尊重した福祉サービスの提供に関して、「知的障がいのある方を支援する為の行動規範」から大きな字で書き直した項目別の掲示表を作成し、朝礼時に、理念・基本方針と共に職員で唱和している。</p> <p>改善できる点/改善方法： プライバシー保護マニュアルが、個人情報保護マニュアルの内容になっている。マニュアルを作成し、それを基に職員研修を行い理解を図るとともに利用者や家族にプライバシー保護に関する取り組みを周知するよう望みたい。</p>	

III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
31	② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	b
32	③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 特になし。</p> <p>改善できる点/改善方法： 施設を紹介する資料等が、多くの方が利用する場所に置かれていない。施設の利用希望者にわかりやすい資料づくりの工夫はしておらず、家族向けの説明資料である。利用者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供するための工夫を期待したい。また、福祉サービスの変更にあたり情報提供はしているが、福祉サービスの継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めておらず、相談できる担当者や窓口への案内は口頭のみである。手順と引継ぎ文書を定め、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡すことを望みたい。</p>	

Ⅲ- 1 - (3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	① 利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
コメント	良い点／工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点／改善方法： 利用者満足に関する調査を定期的に行っていない。定期的に調査を実施し、利用者満足の上を図るように望みたい。	

Ⅲ- 1 - (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
35	② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	b
36	③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
コメント	良い点／工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点／改善方法： 苦情の仕組みをわかりやすく説明した掲示物の掲示や、利用者等に資料を配布して説明をしておらず、利用者や家族が苦情を申し出しやすい工夫も行っていない。資料の作成、利用者等への配布と園内掲示を望みたい。また、苦情カードの配布や匿名アンケートを実施する等、苦情を申し出しやすい工夫も期待したい。利用者が相談や意見を述べやすい環境整備として、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成しておらず掲示もしていないため、改善を望みたい。利用者の意見・相談マニュアルの作成、意見箱の設置やアンケート調査等の利用者等からより多くの意見・相談が出やすい工夫を期待したい。	

Ⅲ- 1 - (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
38	② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
39	③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
コメント	良い点／工夫されている点： リスクマネジメント体制、感染予防体制、災害時における利用者の安全確保体制について、適切な対応がとられている。	
	改善できる点／改善方法： 特になし。	

## Ⅲ- 2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ- 2 - (1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
コメント	良い点／工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点／改善方法： 業務マニュアルにプライバシー保護にかかわる姿勢を明示していない項目があり、標準的な実施方法にもとづいて実施しているか確認する仕組みがないため、具体的な改善を望みたい。福祉サービスの標準的な実施方法の検証見直しは年1回と決められているが、検証・見直しにあたり職員や利用者等からの意見や提案が反映されるような仕組みがない。マニュアル改定時の仕組みづくりと、具体的な対応を望みたい。	

Ⅲ- 2 - (2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	b
43	② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	b
コメント	良い点／工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点／改善方法： 部門を横断した様々な職種の関係職員が参加してのアセスメント協議を実施しておらず、利用者の意向把握と同意を含んだ手順を定めるよう期待したい。定期的な個別支援計画の評価見直しは、習慣としての取組みとなっており、手順や仕組みは定められていない。個別支援計画の見直しは、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、利用者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施するよう望みたい。	

Ⅲ- 2 - (3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a
45	② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
コメント	良い点／工夫されている点： 利用者に関する記録の管理体制は、園長を責任者として個人情報保護規程を定め、個人情報保護の観点から職員研修を実施し、U S Bメモリの取扱い等適切に実施している。	
	改善できる点／改善方法： 特になし。	

## 【内容評価基準】

### A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重		
A①	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントについての理念を「生活支援要綱」に記載しており、具体的内容についても「知的障害のある方を支援するための行動規範」の中の「利用者の意思・個性の尊重」に明記している。さらに「心がまえ」を毎朝職員で唱和し、その内容についての共通理解を深めている。また、利用者の権利等については新任研修時に研修をしており、さらに定期的な研修も行っている。そして、その研修内容については、職員会議において報告を行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-1-(2) 権利侵害の防止等		
A②	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	c
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点/改善方法： 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集し、それを利用者に提示して周知を図ることが望まれる。	

### A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本		
A③	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
A④	② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
A⑤	③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
A⑥	④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
A⑦	⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 絵カードや絵スケジュール表等の視覚情報を用いたものを手作りで作成して、それを用いることで利用者とのコミュニケーションが円滑になるように工夫をしている。また、補聴器を用いた音楽療法にも取り組んでおり、利用者の状況に応じた支援を行っている。さらに、スポーツ教室や食事・おやつ作り、外食、地域の施設・イベントへの参加等年間を通して様々な行事が利用者の意向を取り入れながら行っており、利用者の生活が充実するような取り組みが行われている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(2) 日常的な生活支援		
A⑧	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 一人部屋を基本とした生活ができるようにしており、お風呂やキッチン等も少人数で利用できるように配慮をしているため、利用者の好きな時間に入浴ができたり、いつでもキッチンを使うことができる。また、食事は利用者の嗜好を考慮したものを毎週金曜日に一品つけることをしており、食事が美味しく、楽しく食べられるように工夫をしている。さらに利用者がわかりやすいように絵で示したスケジュール表を手作りで作成しており、日常生活の中で利用している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(3) 生活環境		
A⑨	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 建物をユニット化しており、一人部屋での生活が基本となり、お風呂やキッチン等も少人数で利用するなど、家庭的な雰囲気となるように工夫をしている。掃除は、毎日業者がトイレ、洗面台、床の清掃を行い、職員も居室やお風呂、キッチンの清掃を行っているため、とても清潔に保たれている。さらに水道の蛇口には止め忘れても自動で止まるような装置が設置されていたり、エアコンが見えないようにカバーが設置されていたり、電気コンセントもカバーが設置されていたりと安心・安全に配慮した生活環境を確保している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A⑩	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 生活訓練として、掃除、炊事、洗濯等の手伝いを支援の中に取り入れており、毎日の生活の中で生活スキルが身につくように支援をしている。また、機能訓練としては、口腔マッサージ・咀嚼訓練マニュアルを整備して機能訓練の支援をしている。さらに、未就学児については、療育センターに毎月通っており、専門的な支援を定期的を受けているとともに園内の支援にも、スプーンの使い方等その内容を取り入れている。そして訓練計画については策定会議で検討・見直しを行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援	
A⑪	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。 <span style="float: right;">a</span>
A⑫	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。 <span style="float: right;">a</span>
コメント	良い点/工夫されている点： 健康管理マニュアルや感染症対策マニュアル、投薬支援マニュアル等各マニュアルを整備しており、マニュアルに基づいた支援をしている。また、年間を通して健康診断や歯科検診等も定期的に行っている。さらに学校の休業日には、健康増進を目的としたラジオ体操を日課に取り入れており、利用者の健康に対する支援を行っている。さらに、夜勤日誌には、ブリストル排便スケールを用いて利用者の排便状態を記録しており、利用者の健康状態の把握をしている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2-(6) 社会参加、学習支援	
A⑬	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。 <span style="float: right;">a</span>
コメント	良い点/工夫されている点： 年間を通して、スポーツ教室やおやつ作り、施設見学等様々な行事を園全体としてやユニットごとに定期的に行っている。また、各行事内容については、利用者の希望と意向を考慮して実施している。特に希望と意向を尋ねるときには、写真を利用して利用者によりわかりやすくする工夫をしており、利用者の希望した行事を毎回している。そして、社会参加や学習の意欲を高めるために、利用者の状況に応じて音楽療法や学習支援を行っている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	
A⑭	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。 <span style="float: right;">a</span>
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者の社会生活力と地域生活の意欲を高めるために、地域の神社等の清掃や地域のお祭り等の行事に積極的に参加する支援を行うとともに、朝倉遺跡等の見学といった地域の社会資源に関する情報や学習・体験の機会も数多く設けている。また、学校や児童相談所と連携した職場実習を行っており、実習がスムーズに実施できるように打合せや見学、送迎等を行い、利用者に配慮した地域移行支援をしている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	
A⑮	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。 <span style="float: right;">a</span>
コメント	良い点/工夫されている点： 個別支援の経過報告会を年2回実施し、家族に対して経過報告を行うとともに、これからの個別支援について家族と相談しながら支援計画を進めている。また、ファミリーケアの取り組みについて実践事例発表会を年に1回行っており、ファミリーケアの実践事例を職員間で共有し、よりよいファミリーサポートの向上を図っている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

### A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援	
A⑯	① (障害児支援施設・事業所のみ) 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。 <span style="float: right;">a</span>
コメント	良い点/工夫されている点： 未就学の利用者は療育センターに定期的に通っており、そこで発達障害について専門的な療育を行い、さらにその情報を基に園内においても支援方法や支援計画が検討された療育を行っている。また、利用者の状況に合わせて月2回音楽療法を定期的に行っており、補聴器などの補助機器の利用もしている。さらにコミュニケーションが十分でない利用者については、絵や写真を利用した手作りのコミュニケーションカードを利用して、利用者とのコミュニケーションを図っている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。